

1 自己評価及び外部評価結果

(ユニット名 -)

事業所番号	0690100250		
法人名	有限会社 エーベック		
事業所名	グループホーム人生の楽園		
所在地	山形市風間1261番地1		
自己評価作成日	平成 24年 1月 11日	開設年月日	平成 18年 4月 1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

高瀬川の河川敷が目の前に広がり、四季折々の風景を肌で感じることが出来る。自然環境の恵まれた場所で、理念の「ゆったり・楽しく・一緒に」をモットーに住み慣れた地域で暮らし続けるよう支援して参ります。野菜はもとより、米・野菜は、契約農家から取り寄せ、食の安全に取り組んでおります。地元行事への参加や自発的な活動(河川敷・官地の草刈り、ゴミ拾い、除雪等)積極的に行っています。又、医療連携として、経験豊富な訪問看護ステーションと契約を結びサービスの提供を致します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

山形市の北部に位置するこの事業所は、地域密着型介護サービスの理念を踏まえ、利用者が孤立することなく地域と繋がりがりながら暮らし続ける事が出来るよう、地域との交流を大切に河川敷の草刈りや雪かき等地域貢献を始め、避難訓練への協力やボランティアの訪問、地域行事の参加、納涼祭への地域の方の招待等地域との交流が広がっている。また、長く利用されている利用者も多く、重度化に向けた取り組みとして、研修や勉強会をと重ね、重度化に向けた指針等を整備し、利用者やその家族等が安心して過ごせるよう努力している。管理者等は、サービスの質の向上に前向きで、研修機会の確保し、交流事業を通して他事業所の良い部分を積極的に取り入れる他、外部評価の目標達成計画等活用し様々な問題解決に向け日々努力している。

※事業所の基本情報は、公表センターページで検索し、閲覧してください。(↓このURLをクリック)
(公表の調査月の関係で、基本情報が公表されていないこともあります。御了承ください。)

基本情報リンク先 <http://www.kaigo-yamagata.info/yamagata/Top.do>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	協同組合オール・イン・ワン		
所在地	山形県山形市桜町四丁目3番10号		
訪問調査日	平成 24年 1月 27日	評価結果決定日	平成 24年 2月 8日

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

山形県地域密着型サービス「1 自己評価及び外部評価(結果)」

※複数ユニットがある場合、外部評価結果は1ユニット目の評価結果票にのみ記載します。

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念「ゆっくり・楽しく・一緒に」を実践すべく、利用者の出来るところは自分でやってもらい、職員は気持ちに寄り添いながら見守ることを大切にしている。	理念は見やすい場所に掲示し、職員各々がそれぞれ確認し日々のケアに活かしている。管理者は寄り添うことを理念の実践の第一と考え、職員も利用者一人ひとりの表情や話に注意すると共に関わりを多くし、事業所の都合や業務中心にならないよう「ゆっくり・楽しく・一緒に」を実践している。職員各々が年一回自己評価を行う他、職員間による相互評価を行う仕組みもあり、理念の実践状況の確認も行われている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	河川敷の草刈りや冬場の雪かき等を積極的に行い、地域へ貢献すると共に、地域の行事にも参加し、地区区長・隣組等の方と顔なじみになり、日常的に交流している。今年は、納涼祭に地域の方を広くお誘いした。	自治会には加入していないが、地域との繋がりを大切にし、河川敷の草刈りや雪かき等の地域貢献や広報誌の回覧、避難訓練への協力、行事等の情報提供、地域のボランティアの訪問等地域との積極的な交流が図られている。職員も利用者が孤立することなく、地域の一員として交流できるよう、普段の外出の際の挨拶や声かけ等に努力している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所では、「楽園だより」という広報誌を発行し、地域の方に回覧したり、運営推進会議等を通じて、園での生活を公開し、認知症に対する理解を求めている。又、相談等にも随時対応している。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な運営推進会議では、施設の運営状況や利用者について、又、外部評価についての報告を行っている。委員の方々からは、活発な意見を頂き、職員会議等でサービス向上に活かせるよう話し合いを行っている。	運営推進会議では、避難訓練やボランティアの受け入れ等事業所の取組や状況を報告し、委員から意見や助言等いただいている。運営推進会議の内容については会議等で話し合いサービスの向上に活かしている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	毎月介護相談員の訪問を受けている。又、認定調査や、生活保護利用者の暮らしぶりについて報告したり、アドバイスを頂いたりして話し合いを行い、市町村との協力関係を築くように努めている。	毎月介護相談員の訪問を受け様々な意見をいただいている。昨年の目標達成計画に従い職員に内容の周知も行われている。また、権利擁護等に関して実際に市の担当者に相談したり、利用者個別の案件等には電話等で助言を頂き、日ごろから協力関係を大切にしている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら、玄関に鍵をかけない工夫や、身体拘束をしないで過ごせるような工夫に取り組んでいる	身体拘束をしないケアについて、研修を行っており、理解している。日中は玄関に施錠はせず、職員は、状況に応じて利用者に寄り添い、見守りながら安全に過ごせるように工夫に取り組んでいる。	研修会や勉強会を通じて、職員に身体拘束について周知を図っている。職員もその弊害や禁止されている具体的な行為を理解し、寄り添うことを大切に、否定せずよく話を聞き、見守りを重視することで安全を確保し、安易な身体拘束や鍵をかけずに過ごせる工夫を行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	新人研修は基より、研修会・職員会議等で、高齢者虐待防止法に関する法律を学び、日頃から周知徹底を図っている。入浴や排泄時に身体のチェックをさりげなく行い、アザや傷があった場合は、個人ケースや、申し送り帳に記入し、防止に努めている。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員会議で話し合い、学ぶ機会を設けている。実際に市の担当者に制度の相談をし、活用出来るように、支援している段階である。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の立場に立って分かり易く時間をかけて、説明、質疑応答を行い、理解、納得をして頂いている。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族等がいつでも意見や要望を表すことが出来る環境や雰囲気を作るように努めている。出された意見等は、「意見・苦情対応記録ノート」に記録し、職員会議で協議し運営に反映させている。	運営に関する意見等は記録に残し、即対応することを大切にすると共に、会議等で周知を図りサービスの向上に活かしている。管理者や職員は家族等と面会時や連絡、行事等情報交換や交流を通じて、利用者を家族と共に支えていく関係を大切にし、意見や要望を表しやすい関係の構築に努めている。		
11		○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員面談や、毎月の職員会議時に意見を出し合い、反映させている。ケア備品等、必要品等の要望もすぐに検討して、購入してもらっている。			
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課制度を導入しており、自己評価、相互評価を実施し、自己を再確認する機会を与えている。又、職員一人一人の勤務態度、能力を把握している。希望勤務や勤務変更の調整にも努めている。			
13	(7)	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の力量に合わせた年間研修計画を作成し、外部研修は、職員の希望や能力に応じて参加させており、研修で学んだ内容を、内部研修として勉強会に用いている。又、新人職員の研修は、マニュアルに沿って育成する仕組みがある。	年間の計画に従い、評価、相互評価を通して職員それぞれの力量やケアの実際を把握し、希望を踏まえながら外部研修に派遣している。報告書や勉強会等で職員に周知を図っている。		
14	(8)	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	県や市のグループホーム連絡会、スクラムチャレンジに加盟しており、交換研修や訪問研修を通じ交流及び情報交換を行いながらネットワーク作りに努め、サービスの向上に行かしている。	グループホーム連絡会やスクラムチャレンジ等を通じて、管理者、職員ともに他事業所との交流が行われている。管理者等もその交流による情報交換を重視し、他事業所の有益な情報はすぐに取り入れ、試行錯誤を繰り返し、現状に満足する事無くサービスの質の向上を目指し、努力している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期は、話題を提供しつつ、本人の話をよく傾聴し、不安を受け止め、安心して過してもらえるように、関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の話を良く傾聴し、家族の希望をよく理解し、受け止め、共に支えていけるよう、関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用前に事前訪問や見学を行い、利用者・家族からの話をしっかり聞き取り、ケアプランを確認しながらニーズを把握し、理解したうえで対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、利用者が主体であることを忘れずに、暮らしを共にする者として、利用者の有する能力に応じ、自立した日常生活を過ごし、人生の先輩から学び、支えあいながら関係を築いている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は、本人の日常生活から行事等の出来事を家族へ送付し、面会時等会話をし、情報の交換をして、共に本人を支えていく関係を築いている。		
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域におけるこれまでの生活の継続を大切に考え、行きたい場所の要望があれば、支援しており、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の良好な関係を築けるように、全員で行事に参加する等、共通の話題で会話出来るようにして、コミュニケーションの場を作り、支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、彼岸には思い出すように供養している。家族とは、声をかけ合う間柄の方もおられ、相談は無かったが、常時フォローし、支援に努めます。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いは、利用前のアセスメントで、これまでの生活歴や、ADLを確認し、本人や家族の話を伺いながらコミュニケーションをとり、希望、意向の把握に努めている。困難なときには、家族に相談し、本人本位に検討している。	思いや意向の把握は、日々の関りや会話の中から把握している。職員は思いを表しにくい利用者には関わりを多くし寄り添いながら表情やしぐさ、家族からの聞き取り等本人本位に検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントとして、本人、家族、ケアマネージャー等からも基本情報を頂いている。全職員の共有情報として、ケアに生かしている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりに目を配らせ、バイタル・食事・排泄等の生活の記録を必ず記入し、現状の把握に努めている。			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議や、ケアカンファレンス時に担当職員、家族の意見などを参考に現状に即した介護計画を作成している。	3か月ごとのモニタリングとカンファレンスにより職員の気づきや意向の把握に基づき話し合い定期的な見直しや、状況に応じた介護計画の作成に繋げている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の日々の状況や気づきを、介護記録・業務日誌・申し送りノート等へ記入し、職員間で共有し、実践や介護計画の見直しに活かしている。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 (小規模多機能型居宅介護事業所のみ記載) 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる				
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括・消防署の指導や派出所の警察官巡回、区長さん、民生員さんとの意見交換等を得ている。又、定期的な歌と踊りのボランティア・毎週水曜日の折り紙教室を地域の方が来て下さり支援を受けている。			
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医・利用者のかかりつけ医の受診を、家族と協力し介助を行ったり、医療機関との連携を図っている。近隣のかかりつけ医の往診もあり、緊急時に対応してもらえる協力関係を築いている。	協力医やかかりつけ医とは利用者の状況等を記した文書により伝達すると共に、家族にも診察内容等を連絡し、医療機関と家族、事業所と情報を共有できるよう努めている。尚、往診等にも対応している。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は、日々体調の変化に気づいたり、不安な点があれば、すぐに、看護師・主治医・訪問看護ステーションに連絡し、相談・指示を仰いでいる。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、入院治療が必要な可能性が生じた場合は、協力医療機関を含めた病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際には、医療機関に必要な情報提供を行い、安心して治療が出来るように、お見舞い時には、病院関係者との情報交換や相談に努めている。協力医療機関受診時、入院が必要と判断された場合は、紹介状を頂いている。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、医療関係者等と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階から本人や家族の意思を伺い、事業所として出来ること・できないことを十分説明した上で、方針を共有し、かかりつけ医・訪問看護等と共にチームで支援に取り組んでいる。	昨年の目標達成計画に従い、重度化や看取り等の研修を多く行い、指針等を整備し、事業所の出来ること、出来ないこと等方針の共有に努めている。かかりつけ医や訪問看護事業所との連携の構築も努力している。状況に応じて家族等とも話し合いの場が設けられ、方針の共有と段階的な合意に向け努力している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年二回、消防署に委託し、応急手当や初期対応の訓練、心肺蘇生法やADEの講習を受講し急変や事故発生に備えている。又、内部研修も行い急変時の対応を周知している。			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災や地震、水害等を想定した防災マニュアルを作成し、消防署の協力を得て、夜間想定を含めた避難訓練を年二回実施し、地域住民の方と、実際に避難場所まで、誘導している。又、避難方法を地区の方と、話し合っている。	毎月消防署の協力や地域の方の参加を得た避難訓練の他研修等行われている。先の震災の経験を踏まえ火災のみならず地震や水害等を想定した訓練も行い、マニュアルの作成、また、備蓄や発電機等の整備等も行われている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないように努めている。特にトイレや入浴に関しては、さりげなく声がけし、不快感を与える事のないよう、笑顔での対応に心がけている。	利用者が主体であることを大切に、暮らしを共にする者としてそれぞれの人格の尊重に努めている。また、利用者個々に適した言葉使いを心掛け、不快を与えないよう日々注意し、場合によっては職員同士注意し合い振返りを含めながら話し合いの場を設けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お茶菓子や、献立、外出先の希望を利用者から出してもらい、自己決定が出来るよう、様々なコミュニケーションを取り入れ、言い出し易い環境を支援している。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調を配慮しながら、職員が無理強い事なく、一人ひとりのペースを大切に支援している。毎日決まった活動をあえて設けず、その日の利用者に合わせて、希望に沿った支援をしている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の好みを尊重し、洋服を選んでもらったり、理容・美容院は、家族の送迎や、職員の付き添い、訪問カットの利用等、個別に支援している。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の要望や希望を取り入れ、時下農園で収穫した無農薬野菜を活用し、利用者の能力に合わせて収穫・調理・片付けを、職員と共に、食事が楽しくなる支援をしている。	利用者の要望を取り入れながら、季節の食材や自家農園で収穫した野菜等を使用し、利用者の状態に配慮しながら調理の過程に役割を担って関わることを大切に、職員と一緒に食事を楽しむ関係を大切にしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事内容を記録し、栄養の偏りがなく、カロリー計算を行い、バランスや、柔らかさ、トロミ、水分量をチェックし支援している。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりに合わせた口腔ケアの声かけと介助、夕食後には、義歯の消毒を行っている。			
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて一人ひとりの排泄パターンを把握し、さりげなく声がけし、出来る限り自立した排泄に繋がるように支援している。	排泄チェック表により排泄パターンを把握し適時の声かけや、利用者それぞれのしぐさ等を注意深く読み取り声かけすることで、トイレでの排泄や自立に向けた工夫を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排泄を記録し、植物繊維、乳製品、水分摂取やリハビリ体操、散歩等の運動を働きかけて、自然な排泄が出来るように取り組んでいる。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、事業所の都合だけで曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの希望時間や、タイミング、体調に合わせて個浴にて行っている。風呂嫌いの方には、足浴や、ドライシャンプー等個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴時間については特に決まりはなく、利用者の希望や習慣を大切にしている。入浴を楽しむことができるよう、入浴剤、音楽等を取り入れる等工夫されている。入浴したがる利用者にも、強制は行わず、声かけや部分浴等工夫して清潔保持に努めている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣に考慮しながら、夜間の湯たんぼ等での安眠は、無くてはならないものになっている。日中、ソファでの休息では、膝かけを準備したり、温度や明るさにも注意し、安心してよく眠れるように支援している。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが服薬している薬の名前、効用、副作用の説明書を一覧のファイルで確認出来るようにしている。又、薬の準備、服薬支援は、職員2人で行い、症状の変化の確認に努めている。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節の作物や漬物の漬け方、毎月の掲示版の作品作り、家事の手伝い等の役割活動で、やりがいを持って頂き、又、行事やドライブ、散歩等を通して、ストレス溜まらないよう気分転換の支援をしている。			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や希望に応じて、自家農園の野菜の収穫や散歩、ドライブに出かける等の外出支援を行っている。又、家族の協力を得て、自宅や知人宅に出かけられるよう支援している。	行事やドライブ、気分転換を図る散歩や自家菜園での収穫、また、広い敷地を活かした外気浴等、戸外に出かける工夫がされてる。また、馴染みの場所への訪問や、家族の協力を得ての外出等、個々の希望にも応じている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	病院受診や外出の際等は、本人の希望や能力に応じて、立替払いや、見守りによるお金を使えるように支援している。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の希望や、届け物のお礼の電話等に自由にかけて頂けるよう職員は、必要な手伝いをしている。手紙の投函は、いまの所、代行している。			
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には、季節の生け花、居間には、季節に応じた飾り付けで、季節感を出し、ソファ・食卓テーブル・畳スペースでは、利用者の好みや状態に応じて心地よく過ごせるような工夫をしている。	食卓やソファ、座敷等利用者それぞれが思いおもいに過ごせるスペースがある。居間の窓からは、自然豊かな景色景が見渡せる。職員は、季節感を大切に、BGMや生け花、飾りつけ等を行い、思い出の写真や職員と一緒に作った作品等飾りつけられ、居心地良く過ごせるよう努力している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	屋内では、ソファや食卓テーブル、小上がりの畳を設置し、野外では、あちこちにベンチを置き、一人になれたり、気の合う利用者同士で、思い思いに過ごせるように支援している。			
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、入居時に家族と相談し、馴染みのたんすや思い出の写真が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	馴染みの物や利用者それぞれの思いを大切に、居心地よく過ごせるよう、思い思いの家具の配置や飾りつけされている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者が混乱を起こさないように、トイレの標示、浴室ののれん、各居室の目印(表札)を標示し、通路には物を置かず、安全かつ出来るだけ自立した生活が送れるように工夫をしている。			